



東北商店株式会社

www.tohokushoten.com

被覆線・雑品  
非鉄金属買収

貿易業

東北商店株式会社

□本社

大阪市住之江区新北島5-3-16

TEL:06-6683-8828

□南港事業所

TEL:06-6613-8838

□千葉支店

TEL:0436-76-7277

□名古屋支店

TEL:0567-94-5688

グループ会社

東北エント株式会社

兵庫県姫路市網干区浜田1585

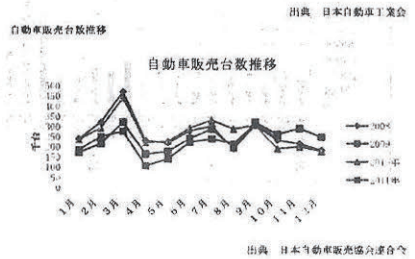
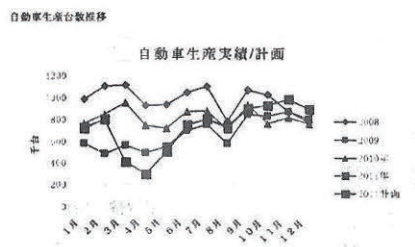
TEL:079-271-5025

www.tohoku-ent.com

# 日刊メタルレポート

発行所  
株式会社 日刊金属新聞社  
本社 大阪市城東区蒲生1-3-7  
電話(06)6932-5443 代表  
北陸支社 富山市曙町1-30-508号内  
電話(076)444-6836  
購読料 半年44,100円(前納) 3ヵ月22,050円

◆自動車生産台数	7月	8月	9月
生産台数	79万325台	70万4696台	88万3693台
前月比	+6.5%	-10.9%	+25.4%
昨年対比	-8.9%	+1.8%	-4.5%
◆自動車販売台数	8月	9月	10月
販売台数	21万6510台	31万3790台	24万7927台
前月比	-10.3%	+44.9%	-21%
昨年対比	-25.5%	+1.7%	+28.3%
◆生産計画台数	10月	11月	12月
生産計画台数	91万9200台	97万1700台	88万300台
前月比	+3.8%	+5.7%	9.4%



◆日本自動車工業会によると、自動車生産台数は前月比二・五・四％増の八万三、五九三台であった。(二面へ続く)

【前月の経済指標】  
後半、EU首脳会合での決定について独メルケル首相が「全てが解決したわけではない」などのマイナス発言やFRBが地区連銀報告書(ヘイジュブツク)で米景気について不透明感があるとの言及を受けて、六、八〇〇ドル附近まで下げる場面もあったが、欧州連合の包括戦略で問題であったヘアカット率について民間金融機関が結果的に五〇％で妥協、受け入れたこと。また七、九月の米GDPが二・五％増とクリスマス商戦にむけて良い内容だったこと、更に中国が金融緩和とスタンスへ含みを持たせた発言を好感し急騰、十一月一日現在、七、九〇〇ドル(セツル)と前半締めから四〇〇ドル強上昇、建値六七万円の好調スタートとなった。



橋本健一郎氏

橋本金属 橋本健一郎氏リポート①

## 輸電鋼 入前月に続いて大幅減少

### 自動車以外の分野で調整進む

【概況】十月前半、前月の波乱の流れの中、米格付会社社ムーディーズのイタリア債の三段階引き下げなどマイナス要因はあったものの、国慶節前にLME銅のキャンセルワラント率が倍増したことによる需給の引き締め観測や仏大手金融機関デクシアが資本注入のための分割、売却を行ったこと、欧州金融ファシリティー(EFSF)の枠拡大についてスロバキアでの合意を得られたことなどプラス材料を受けて、七、五〇〇ドル(セツル)と三七〇ドル暴騰しての前半締めとなった。

# 銅需給、全体として供給過剰か

## 銅相引き続き、欧州問題など材料視へ

(二面より続く)

◆日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前月比二・一%減の二四万七、九二七台。

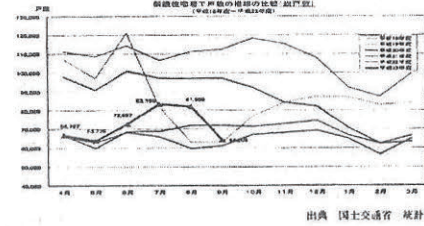
◆二カ月前の自動車生産計画は昨年対比二〇・四%増の二七万二、二〇〇台

◆新設住宅着工戸数

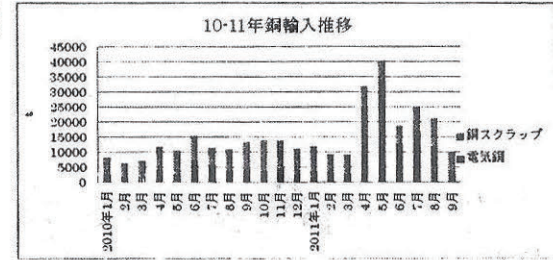
国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)二〇・二%減(昨年比一〇・八%減)の六万四、二〇六戸であった。

輸入は電気銅が前月比六八・二%減の三、八〇四t。スクラップ三二・六%減の六、一九九t。

	7月	8月	9月
新設住宅着工数	8万3398戸	8万1966戸	6万4206戸
季節調整 前月比	+16.9%	-2.2%	-20.2%
昨年対比	+21.2%	+14%	-10.8%
新設住宅着工件数推移			



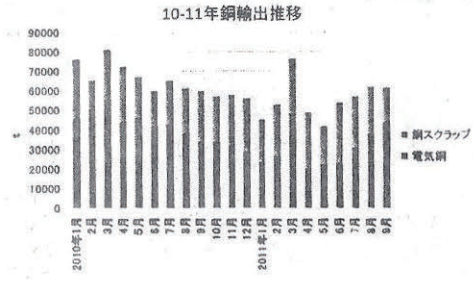
	7月	8月	9月
輸入			
電気銅	1万7063t	1万1963t	3804t
前月比	+34.5%	-29.8%	-68.2%
スクラップ	7938t	9195t	6199t
前月比	+28.9%	+15.8%	-32.6%
輸入推移			



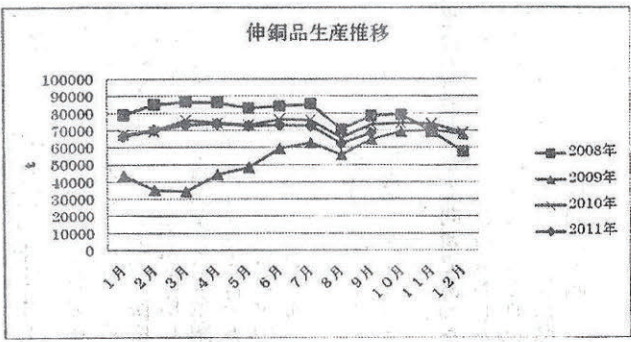
◆貿易関連指標

財務省貿易統計によると、輸出は前月比で電気銅が一五%増の四万三、八一六t、スクラップが二四・六%減の一万七、八七五t。

輸出	7月	8月	10月
電気銅	3万918t	3万8114t	4万3816t
前月比	+36.6%	+23.3%	+15%
スクラップ	2万6千t	2万3706t	1万7876t
前月比	-16.9%	-8.8%	-24.6%
輸出推移			

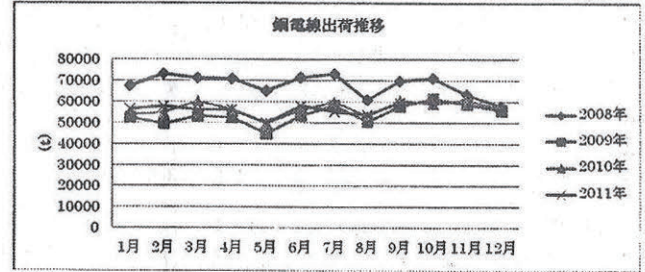


【前月の国内指標】日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比一〇・二%増の六万八、五〇t(昨年対比六・八%減)。



日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は、前月比一〇・八%増の五万九、五〇〇tであった(昨年対比一・六%減)。(四面に続く)

(二面より続く)



出典 日本電線工業会

【見通し】  
好調な自動車関連以外が生産、在庫調整が進んだ月となった。

自動車生産は前月比二五・四%増の八万三、五九三台と大幅上昇するも、前年比では四・五%減と二カ月連続で震災前の水準にもどった。

また国内自動車販売台数も二四万七、九二七台で前年比二八・三%増と急回復、販売回復機運は堅調。

復興需要品種が多い伸銅品生産量は前月比一〇・三%増の六万八、五五〇tで昨年対比六・八%減と四カ月連続の前年割れ。

銅電線出荷量は前月比一〇・八%増の五万

### 中国精錬銅需要

## 一〇九月は前年同期比八%増

通年では七百万吨に達するか

中国有色金属工業協会は二日、二〇一一年一〇九月の同国の精錬銅需要が前年同期比八%増の五四六万トンだったと発表した。

通年の需要では七〇〇万トンに達する見通しという。同協会は前年実績の具体的な数字は示さなかった。政府系調査機関、安泰科は先に、一〇年の精錬銅需要が六八〇万トンだったとしている。

同協会会長が済南で開かれた業界会議で示した統計によると、一〇九月の同国の精錬銅生産量は前年比一五・四%増の三九三万トン

九、五〇〇t、昨年対比一・六%減とほぼ横ばい。

新設住宅着工数は季節調整前月比二〇・二%減の六万四、二〇六戸。前年比は一〇・八%減とついに復興需要も一段落。

輸出に関しては前月に続き、緊急輸入の電気銅の荷余り感から電気銅輸出が前月比一五%増の四万三、八一六tと三カ月連続大幅増加。

輸入に関して、電気銅は国内在庫増から、前月比六八・二%減の三、八〇四t、スクラップは三二・六%減の六、一九九tと大幅減少。

銅需給に関しては、先月に続き自動車関連には、本格的な需要を前提とした生産・販売が続いている。販売面でも自動車が前年比二八%増と大幅回復した。ただその他の関連は、現在小幅調整している伸銅品、黄銅棒の生産は復興需要の一服から引き続き調整がつづくであろう。また、緊急輸入がなされていた電気銅が先月に続き今回も前月比六八%減と調整を進めており、今月は全体として供給余剰を予測。

銅価格に関しては、先月に続き、欧州問題や米中経済指標が材料視されるであろう。

欧州問題に関しては先月の欧州会合で採めながらも一応の道筋をつけた事から一旦は安定するのではないか。また中国もインフレ抑え込みの結果が出てきつつあり、また、当局が金融緩和に関して言及している事からも、一転利下げの可能性もある。米経済についても悪い指標が出るようであれば追加的金融緩和を行うとの予測もあつて、先月に続き七、〇〇〇ドルを切る水準では実需筋の買いが入るとの思惑から、LME価格で七、〇〇〇、八、一〇〇ドル。銅建値に関しては五九、六八万円程度と予測している。

有色金属工業協会

製錬業者の処理能力拡大が背景。

### 米フリーコンセントレート在庫ない

グラスバーク銅山近くの港には

米鉱業大手フリーポート・マクモランのインドネシア子会社、フリーポート・インドネシアは一日、同社が保有するグラスバーク銅山近くの港には、出荷のためのコンセントレート在庫が残っていないことを明らかにした。

同社は先週、一部のコンセントレート販売における不可抗力条項の発動を宣言した。